

施策評価シート(平成29年度)

(基本施策の大綱) 1. 快適さを支える生活基盤の向上

(基本施策) (3)上下水道の充実

(評価担当者)

上下水道部長

宮崎 哲二

■基本施策が目指す姿

市民が、良好な水環境の中、おいしい水を利用しています。

■関連する分野別計画

亀山市水道ビジョン

■成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	H31	H32	H33		
1	上水道の有収率	%	89.2	H27	90.8					92.6
2	汚水処理人口普及率	%	86.2	H27	88.0					90.0
3	水道事業会計の経常収支比率	%	109.07	H27	108.59					110.00
4	公共下水道事業会計の経常収支比率	%	103.19	H27	102.92					100.00
5										

■市民アンケート調査

項目	重要度	満足度	現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [H32]	市民アンケートの考察
1 安全でおいしい水が供給されている	1.60	0.96				
	1.48	0.66				
2 生活排水が適正に処理されている						
3						
4						
5						

■総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
B	安全でおいしい水の安定供給については、老朽管の更新・耐震化、緊急遮断弁の設置、水量水圧不足解消工事を計画的に施工するなど施策の推進が図れている。生活排水対策の推進については、公共下水道の未普及地域の計画的な整備、下水道認可区域外等への浄化槽設置に対する補助金の交付、汚水処理普及率の向上など、施策の推進が図れている。上下水道事業の健全経営については、新水道ビジョンの策定、水道料金の改定、下水道事業経営戦略の策定など、施策の推進が図れている。個別の判定では、1施策でA、2施策でBとしている。また、施設整備などで、事業調整に時間を費やし、一部を平成30年度への繰越があったことなどから、総合判定をBとした。
まずまず進んでいる	
反省点・課題	
上水道事業については、老朽化している水道施設や配水管の計画的な更新・耐震化を進めるために、有収率の向上、水道料金の収納率向上などに取り組み財源確保に努める必要がある。下水道事業については、公共下水道未普及地域の整備を計画的・効率的に進めるとともに、下水道供用開始の拡大や接続率の向上、下水道料金等の収納率の向上を図る必要がある。また、農業集落排水事業については、14地区全てにおいて整備が完了し供用開始後20年を経過している施設があり、修繕・改築・更新への対応が求められている。	

今後の展開方針

上水道事業については、「安全な水道」「強靱な水道」「持続可能な水道」を目指し、亀山市新水道ビジョン(平成30年3月策定)に基づき、配水管や水道施設の更新・耐震化を計画的に進めるとともに、適切な財源確保に努める。公共下水道事業については、生活排水処理アクションプログラムや亀山市公共下水道管路施設長寿命化計画、亀山市下水道事業経営戦略に基づき、未普及地域の整備や長寿命化対策を進める。農業集落排水事業については、施設の機能診断を行い最適化構想を策定する。また、各種計画の進捗状況の評価や点検、昨年度改定した水道料金の検証などを適宜行う。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向① 安全でおいしい水の安定供給						
(個別判定)	活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】	評価	【左記の活動により、施策は推進できているか】		
B	活動	安全でおいしい水の安定供給のため、老朽管の更新と耐震化に努めるとともに、震災対策のため関第3配水池に緊急遮断弁を設置した。また、安楽川を横断する水道管等を増径し、能褒野地区の水量水圧不足の解消を図るとともに、川崎加圧ポンプ施設及び亀山・関テクノヒルズ加圧ポンプ施設の建設に着手した。さらに、坂下浄水場に急速濾過機を設置し水質の安定化を図った。	評価	水道管及び水源地等の施設設備の計画的な更新と耐震化を図ることや、加圧ポンプ施設整備により水量水圧不足の解消を図ることで、安全でおいしい水の安定供給につながっている。		
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17009	第4水源地区給水機能強化事業	主	191,714 / 182,452	A	B
	17010	坂下地区浄水場改良事業	主	74,736 / 71,174	A	B
	17011	水道生活基盤整備事業	主	20,930 / 20,555	A	A
	17106	亀山・関テクノヒルズ給水機能強化事業	主	73,500 / 12,850	B	B
事業以外の取組	内容				活動	成果

施策の方向② 生活排水対策の推進						
(個別判定)	活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】	評価	【左記の活動により、施策は推進できているか】		
B	活動	公共下水道の未普及地域の管路整備を計画的に実施し、下水道認可区域外等への浄化槽の整備に対して補助金の交付を行うことで汚水処理人口の普及率の向上を図るとともに、接続率の向上にも努めた。農業集落排水施設の維持管理を適切に行った。排水路の整備や清掃を実施することで雨水排水の機能向上を図った。施設整備事業については、一部繰り越しを行った。	評価	汚水処理人口普及率は計画どおり進捗している。公共下水道事業については生活排水処理アクションプログラムに基づき未普及地域の整備を行うとともに、長寿命化対策にも取り組んでいる。農業集落排水事業については、施設の適切な維持管理に努めている。雨水排水路の整備については、優先度の高い箇所から計画的に進めている。		
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17012	公共下水道施設整備事業	主	644,000 / 594,807	B	B
	17013	下水道管渠長寿命化対策事業(みどり町、みずほ台地区)	主	60,000 / 57,689	B	B
	4109	浄化槽整備事業(市制度分)	標	671 / 658	B	B
	8084	施設整備事業(都市下水道費)	標	405 / 0	B	B
事業以外の取組	内容				活動	成果

施策の方向③ 上下水道事業の健全経営						
(個別判定)	活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】	評価	【左記の活動により、施策は推進できているか】		
A	活動	上水道事業について、水道水の持続的供給と健全な事業運営を継続していくため、新水道ビジョンを策定した。また、今後の財源確保のため水道料金を改定した。公共下水道事業及び農業集落排水事業については、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図るため下水道経営戦略の策定を行った。	評価	上水道事業については、新水道ビジョンを策定したことで、今後の上水道事業を取り巻く環境の変化に的確に対応でき、健全な事業運営の持続に寄与できる。公共下水道事業及び農業集落排水事業については、策定した経営戦略に基づき安定的かつ継続的な運営に向け取り組んでいく。		
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
				/		
事業以外の取組	内容				活動	成果
	亀山市新水道ビジョン策定及び水道料金改定				A	A
				A	A	